

林いさお通信

討議資料
No.12 3月議会報告 林いさお後援会



3月25日、平成20年度予算案が可決され3月議会が閉会となりました。

私達3会派（大空、ネット、ウイング）と共に産党が、平成20年度一般会計予算の組み替えを求める動議をそれぞれ提出。議会は空転し、町長は、予算案可決のため、共産党の動議の一部を受け入れ、補正予算で実行すると約束しました。

緊縮財政に逆行

共産党と合意し予算増

予算案採決までの経緯

私達（神田順子議員、山口正史議員、菊地浩二議員そして私は、平成20年度の三芳町一般会計予算の組み替えを求める動議を提案しました（詳細後述）。厳しい財政状況の中、優先度の低い予算の削減および予算内容の精査を求めるものでした。

一方、共産党からも、社会保障を中心に、暮らしに直結した施策の拡充を図るために3億円を超える予算要望の動議が上がっていました。私達と共に産党の動議の内容は、相反するものでした。

残念ながらこのままだと

「平成20年度三芳町一般会計予算」は成立する可能性はな

く、執行部側と調整が行われ、議会の会期は延長され、最終

日は深夜2時までおよびま

した。

会派21クラブ、公明党等が

共産党に呼びかけ折衝を行い、

町長は4点の事業（5千万円前後）を補正予算で実行することを共産党と合意しました。



ピカいちさんの自問自答

どんな公園が必要かな？

3月議会の予算案に2つの公園整備案が上がつきました。

子供達や住民の皆さんのおい

場としての公園が必要であり、大切なことは言うまでもないと思います。

昨年、まちづくり懇話会が開催され、私もほとんどの地域の懇話会には参加させていただきました。

その中で、公園が欲しいという声が多くありました。しかし、その多くは、児童公園や子供広場という公園ではなく、大井の弁天の森、キラリ☆ふじみ文化の杜公園のような広い大きな公園たつのを記憶しています。

実は、三芳町でも前述した、「緑の基本計画」でも素敵な公園

構想があります。当町の緑や歴史や文化をいかした公園で、多

福寺森の公園、こぶしの里せせらぎ公園、三芳バーサル販わい公園、緑地公園等・・・。

3月議会に上がつてきた公園整備案は、説得力に欠けていました。

木ノ宮子供広場は、①近隣に幾つかの公園整備案がすでにあります。②上富1区からの要望であるが、場所が上富2区行政区であること。③設置場所がスマートICの恒久設置で、交通量が増す交差点にあり危険であること。（昨年も事故が発生）。

藤久保5区子供広場の拡張は、①集会所との共用で子供広場使用に支障があるというが、答弁では、区の行事と重なった時だけであること。②「緑の基本計画」の中で、近隣に都市公園の

必要性が明記されているというが、22の街区公園計画が藤久保、北永井地域にあり、その一つの半径に入っている過ぎない。

③ウニクス、新北塙、平野に公園があり、現在ある藤久保5区子供広場はそれほど拡張の必要性を感じられない。

従つて、二つの公園整備計画は再度慎重に検討すべきではないかと判断しました。

財政には限りがあります。夕張市のように財政再建団体にならないよう、多くの市町村が骨身を削る思いで無駄な支出の削減に努力をしています。

公園は無いより有ったほうがいいと思います。しかし、公園を整備するにあたっては、従来からの基本計画との整合性や緊急性、必要性をよく吟味し、全

体のバランスを考えた視点が何しようか。

三芳全体を見渡し、後世に、また近隣に跨れる三芳らしい公園を残したいですね。

編集後記

前田孫子市長、福嶋清彦氏の講演を聞いた。◆「首長も議員もそれぞれ住民の選挙によって選ばれており、二元代表制の自治体の議会には、与党、野党はない。時には、ブレーキになり、ハンドルとなつて方向を変えるのが議会である。そして、予算案の審査も議会と首長がオーブンな場で議論し、議会としての総意で首長提案の予算案を修正する」ことが大事である。◆予算修正動議、組み替え動議が普通に行われるのが、議会が健全に機能している証であるそうだ。住民の自治と議会改革は、予算改革から始めなくてはいけないと、あらためて確信しました。



その結果、共産党は動議を取り下げ、予算案に賛成し、可決されました。共産党の代表からは、この間の経緯について説明がありました。

町長は、議会答弁において再三にわたり、厳しい財政状況下「百万円」の予算の捻出ですら厳しいと理解を求めていました。

必要な福祉関連の予算増額は理解できますが、現在の厳しい財政状況下で、十二分な検討もなされず、5千万円の予算を突如、計上することについては、賛否が分かれるのではないかと思います。

平成20年度の予算は、町税の減少が見込まれる中、町債の増額や、基金の繰入でまたなつている面もあります。未來の子供達のために大きな負債を残さないため、財政に対して長期的ビジョンを持ち、事業の精査をしっかりと行うべきではないでしょうか。

また、遅くまで対応していただいた職員の皆さんに感謝申し上げます。

★林いさお後援会事務所 電話 049-259-2228
〒354-0045 三芳町上富1003 FAX 049-258-0968
林いさおオフィシャルウェブサイト <http://wwwisaobz/>